

環境、社会、ガバナンスポリシー

2019年10月現在

概要

受託者として、アジア・オルタナティブ・マネジメントLLC(関係事業体も含めて「アジア・オルタナティブ」と称する)は、投資家の皆様のために魅力的なリスク調整済み超過利益を追求することを第一の責務としています。アジア・オルタナティブは、環境、社会、ガバナンス(ESG)ファクターにおける企業の責任ある行動が、概して長期的な業績に良好な影響を及ぼすと確信しており、またESGファクターの相対的な重要性は業界、地域、時代によって異なることも認識しております。ポートフォリオ投資に固有のリスクを分析するにあたり、アジア・オルタナティブは長期的な業績に重大な影響を与える、あるいは与えるESG課題を特定、監視、緩和するように努めています。潜在的なESGリスクおよび機会はアジア・オルタナティブの投資プロセス全体の一環として適切に考慮されており、その中にはポートフォリオ・ファンドにおけるESGポリシーの状況調査および報告プロセスも含まれています。

PRI 署名企業

2019年5月、アジア・オルタナティブは責任投資原則(PRI)に署名しました。署名企業としてアジア・オルタナティブは以下の6原則の遵守に尽力しております。

1. 投資分析と意思決定のプロセスに ESG 課題を組み込む
2. 積極的な所有者になり、所有方針と慣習に ESG 課題を組み込む
3. 投資対象の主体に ESG 課題について適切な開示を求める
4. 投資業界において本原則が受け入れられ、実行されるように働きかける
5. 本原則の実行における効果を高めるように協働する
6. 本原則の実行に向けた当社の活動と進捗状況を報告する

PRI署名企業となったことを踏まえ、アジア・オルタナティブは投資および監視プロセスにおいてESGを実践しております。

投資前

デュー・ディリジェンスにおいて、投資チームはマネジャー候補に連絡を取り、ESGおよび責任投資に対する彼らのアプローチを調査します。オペレーショナル・デュー・ディリジェンスのプロセスにおいては、情報を収集し、アジア・オルタナティブのESGデータベースに登録します。すでにアジア・オルタナティブと取引があるマネジャーについては、後継ファンドの投資を踏まえて、回答の更新を依頼します。このレビューの結果は最終投資レビュー・ミーティング(Final Investment Review Meeting: FIRM)で議論します。ESGレビューのフィードバックは法的交渉プロセスに組み込みます。

投資後フォローアップ

投資先ファンドのアドバイザー・ボード参画を踏まえて、アジア・オルタナティブの代表者はマネジャーに連絡を取り、ESG問題の進捗状況を調査します。投資チームは年1回、アジア・オルタナティブのマネジャーのフォローアップ調査を行い、ESGに関して以前提供された回答の更新を行います。更新情報はポートフォリオ監督レポートに記録します。

ガバナンス

アジア・オルタナティブは、メリッサ・マー(共同創業者兼マネージング・パートナー)とダン・ダシール(マネージング・ディレクター兼ゼネラルカウンセル)から構成されるESG委員会を設立しました。同委員会は定期的にESGポリシーを見直し、ESG問題について社内外の調整を行います。